

大学連携ボランティア（桜美林大学野球）外務省報告 挨拶（仮訳）

於 コスタリカ外務省

2026 年 2 月 26 日

JICA コスタリカ

所長 吉田 憲

外務省国際協力局長 セルヒオ・ビノクール大使

国家計画・経済政策省国際協力部オスカル・メンデス調整官

コスタリカスポーツ・レクリエーション庁計画部

ダグラス・デルガド・エスピノサ様

コスタリカ野球連盟 アドリアン・アルファロ会長

サントドミンゴ野球スポーツ協会 ガブリエラ・ウマニャ会長

在コスタリカ日本大使館 松本勝弘参事官

J. F. オベリン大学 宮崎光次教授

みなさま、おはようございます。

サントドミンゴ野球協会の皆様、コスタリカ野球連盟、アラフエラ野球協会、コスタリカ外務省、スポーツ庁、MIDEPLAN の皆様、日本国大使館、そして、隊員のホームステイ先の皆様等、協力隊員受け入れにあたっては大変お世話になりました。

日本でも有数の強豪校である桜美林大学の学生のはつらつとした動きを見ることができたのは大変感動的でした。1 か月間の滞在中、野球選手らしく、大きな声、キビキビした指導がありました。これに応え、各野球協会やホームステイ先のご家族の皆様は暖かく隊員を受け入れて頂きました。

コスタリカでの野球協力が1979年から始まって、今年で47年目。この間、108人の隊員が野球の指導を行いました。2016年からは桜美林大学との連携協力が始まって86名に参加頂きました。日本の国民スポーツと呼ばれる野球は単なるスポーツではありません。礼に始まり、礼に終わるという日本文化そのものです。

と同時に、桜美林大学の建学の精神である、「キリスト教精神に基づく国際人の育成」が同じくキリスト教国であるコスタリカにおいて、まさにコスタリカ人と日本人の協働の事業として、この野球を通じた国際協力がなされてきたと考えております。

JICAはこの青年海外協力隊事業を通じて、コスタリカ人一人ひとりと日本人一人ひとりを繋げる国際協力を展開していきます。桜美林大学の皆様、受け入れていただいた、全てのコスタリカ人に感謝致します。そして末永く野球協力を続け、これからもコスタリカ人、日本人が一緒になって両国関係の信頼を深めていきたいと思っております。

以上